

菅平高原スキー 山行報告

【行動日】 2020. 2. 29(土)～3/1(日)

【参加者】 CL 柘植 (記録)、渡辺純、高山、井上里

【行程】

2/29 会事務所 3:30⇒8:00 菅平高原

8:30～15:30 ダボスエリア～太郎エリアでスキー ⇒ 菅平ホテル (泊)

2/16 8:30～13:00 パインピークエリアでスキー 終了後帰葉

菅平は初めてなのでどういう順番に回るか事前に考えたが、主に初心者向けのダボスエリアと太郎エリアを初日に、中上級向けのパインピークエリアを二日目というおおまかな計画を立てた。

2/29 (土) 菅平 ダボスエリア&太郎エリア 晴れ

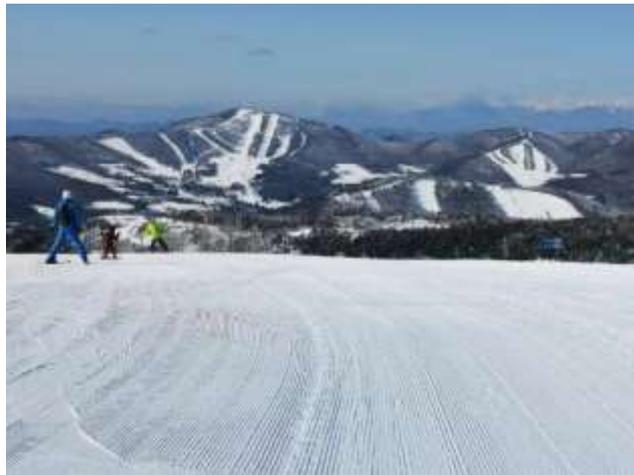


菅平はいくつものスキー場の集合体で、有名スキー場では大駐車場に行けば間違いないのだが、事前に見ていたゲレンデマップでもPマークがあちこちにあり、普通どこに停めるのかよく分からない。それで狙いを定めた駐車場に行ってみたが、まだリフト運行開始前のせいか小じんまりとした未舗装の駐車スペースにクルマがぱらぱらと停まっている程度。ただリフト券は売っているようだし、そのうちリフトも動き出したので、とりあえずゲレンデに出てみる。井上里さんは今シーズン初めてで慣れてないので、初級コースでのんびり滑りたいということで別行動となり、3人で表ダボスゲレンデ中央の長いリフトに乗る。ここの両脇は快適な斜面なので、ここを2回くらい滑ったあと奥ダボスゲレンデに向かう。長いリフトの終点は根子岳に向かうスノーキャットの乗り場でもあり、結構賑やか。スキーヤーだけでなく、根子岳に向かうらしいハイカーなどもある。このころは天気も快晴となり、北アルプスの峰々もはっきり確認できてテンションが上がってくる。ただゲレンデとしては一ヶ所だけ面白いほかは傾斜が緩すぎてすぐに飽きてしまった。それでお隣の太郎エリアに移るわけだが、まずい場所にクルマを停めてしまったので、帰りのことを考えてクルマを移動することにする。よくゲレンデ構成を理解していた

ら最初からダボスと太郎の境界に駐車していたのだが仕方がない。



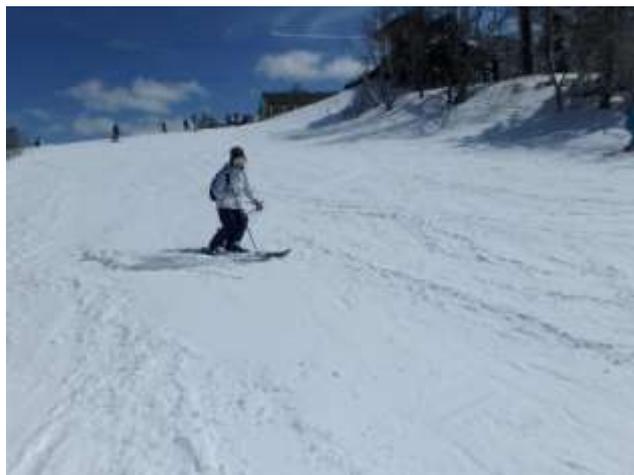
奥ダボスゲレンデの最上部（里さんとはここで別れ）



左はパインピークエリアのオオマツゲレンデ



背後は後立山連峰（鹿島槍～五竜～唐松など）



渡辺純さん



柘 植



高山さん（滑りながらポーズとりすぎ）



太郎 G からダボス G を見る



太郎山のピーク



上級コースは地肌が出て進入禁止



根子岳～四阿山

浅間山～籠ノ登山～湯の丸山

太郎エリアは中級コースも結構あり、ダボスエリアと比べるとかなり楽しめる。2時間くらい滑ったあとといったん昼食休憩。この時期の有名スキー場の昼食タイムなのでふつうはかなり混雑しているのだが、座席は半分も埋まっていない程度でちょっと寂しい感じ。そういえば往路の高速もあまり混んでいなかったが、コロナの影響だろうか？この太郎エリアは太郎山の山頂に向かっていくつものリフトが延びており、そこから放射状にゲレンデが広がっているのので、何度も太郎山に登ることになる。山頂はしっかり囲われた小高いピークになっており、一応山頂の風体を保っているのがうれしい。宿はここからすぐなので、15時半くらいまで滑り、おなか一杯になったところで本日のスキーは終了。宿は菅平ホテルということで、入浴後たっぷりの時間で楽しい宴会ができた。やや飲みすぎ食べ過ぎのところがあ、夕食は豪華だったがみんな少し残してしまったようで、申し訳ない感じ。



菅平ホテルの夕食のメニュー

3/1 (日) 菅平 パインピークエリア

ガスのち晴れ



今日はオオマツゲレンデとツバクロゲレンデで滑る予定。オオマツゲレンデも宿からクルマで数分のところだが、こちらのスキー場も道案内とゲレンデマップの名称の対応がつけにくく、狙った駐車場ではないところに着いてしまった。さっそく準備してスタートするが、今日はひどいガスで視界があまり効かない。またオオマツゲレンデは中上級向きで、下部以外はそこそこの傾斜がある。しかし井上里さんも昨日の練習でだいぶ慣れてきたので本日は4人一緒に行動する。はじめのうちは視界不良のため手探りのように何本か滑ったが、そのうち少しずつ視界が聞くようになってきた。ここはゲレンデの向きが東向きなので、北アルプスとかは見えないのだが、昨日滑った太郎エリアやダボスエリアがよく見えて昨日のことを思い出す。ますます天気はよくなり、可能なコースを滑りつくしてからお隣の



スタート時はこんなありさま



でも霧氷がきれい



幻想的



晴れていれば立て札の景色が望めるらしいが……



ガスの中滑りまくる（写真なし）



やがて青空がのぞきだす



井上里さんの軽快な滑り

写真)

背景は昨日滑った太郎GとダボスG



ゲレンデ基部から見たツバクロゲレンデ（NET借用

今回は一番左の斜面のみ一般者に開放

ここは本来はオオマツゲレンデから連絡コースで滑っていけるのだが、今日は連絡コースが閉鎖ということでまたまたクルマで移動。ただ来てみると滑れる4本のコースのうち3本は講習会やポール練習などのグループに占有されてしまって、一般スキーヤーに開放されているコースは一つしかない。パイン

ピークエリア全体を滑れるリフト券を購入しているので、これはあんまりだが、モメてもどうなるものでもないし、だいたい一般スキーヤーはもしかすると我々ぐらい？あとはゼッケンやヘルメットを被った飛ばし屋さんばかり。知らん顔して一番右のコースに滑りこんだが下のほうで怒られたりしてさんざんだった。本当は14時くらいまで滑ろうと思っていたが、気分が悪いしもう飽きてしまったので13時で切り上げ。風呂に入っていると帰りの高速が混みそうなので、さっと帰ることにして、おかげで千葉には17時半ごろには帰りつくことができた。

ほとんどみんな菅平は初めてのようだが、ダボスや太郎エリアは初心者・入門者には楽しめるエリアと思った。オオマツゲレンデは中級者以上には最も楽しいゲレンデ。最初から天気がよければもっと楽しめたと思うが、条件がよくない中でも十分楽しかった。ツバクロゲレンデは一般スキーヤー軽視の運用を改善してくれなかったらもう行く気はしないところ、最後の最後に残念な印象になってしまった。

記録： 柘植 秀樹